

市長だより

稲穂が実り、あたり一面が黄金色に染まる季節になりました。ふだん市内の景色を見慣れている私も、この時期の風景の素晴らしさには思わずため息が出ます。海外から武雄に来られた皆さんが口をそろえて言うのは、「武雄は自然がとても美しいですね」という言葉。そう言われるたびに、私たちが当たり前と思っている風景が、実はすごく価値あるものであることを再認識させられます。

先日行われた佐賀県伝承芸能祭では、国の重要無形民俗文化財「中野の荒踊」が披露され、見事、県知事賞（ナンバーワン）を受賞されました。過去に出演した武雄の伝統芸能（鳥海浮立、立野川内の虎浮立）に続く県知事賞の連続受賞となり、市内の各地区で毎年継承いただいている伝統芸能はどれも本当にレベルが高いと改めて実感しました。

50年以上前、アメリカの政治家ロバート・ケネディ（元大統領ジョン・F・ケネディの弟）が、GNP（国民総生産でGDPの前身）について、こう語っています。

「子どもたちの健康、教育の質、遊びの喜びを考慮に入れていない。詩の美しさ、結婚の強さ、公開討論の知性、公務員の誠実さも考慮していない。私たちの機知も勇気も、思いやりも祖国への献身も測らない。要するに人生を価値あるものにするものを除けば、すべてを測る。」

生きていくうえでお金は大事です。でも、自然や文化、人の心など、数字では測れないけれど非常に重要なものも数多くあります。そしてそれらは、市民の皆さんの手によって維持され、継承され、広げられています。これからも、お金には代えられない価値を大切にするまちであり続けていけるよう、心から願っています。

武雄市長　小松　政